

**製品名: GABAA R $\alpha$ 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11233**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GABRA1
別名	GABRA1; Gamma-aminobutyric acid receptor subunit alpha-1; GABA(A) receptor subunit alpha-1
遺伝子 ID	2554.0
SwissProt ID	P14867
免疫原	抗血清は、ヒト GABRA1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

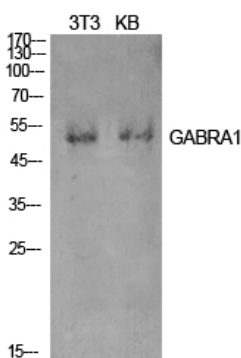
**背景**

この遺伝子は  $\gamma$ -アミノ酪酸 (GABA) 受容体をコードします。GABA は哺乳類の脳における主要な抑制性神経伝達物質であり、リガンド依存性塩素イオンチャネルである GABA-A 受容体に作用します。これらのチャネルの塩素イオンコンダクタンスは、GABA-A 受容体に結合するベンゾジアゼピンなどの薬剤によって調節されます。GABA-A 受容体は五量体で、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 、 $\delta$ 、および  $\rho$  という複数のサブユニットクラスのタンパク質で構成されています。この遺伝子の変異は、若年性ミオクロニーてんかんおよび小児欠神てんかん 4 型を引き起こします。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエントが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: GABRA1 の欠陥は若年性ミオクロニーてんかん (EJM) の原因となる [MIM:606904]。EJM は特発性全般てんかんのサブタイプです。患者は無熱性発作のみを呈し、小児期ではなく思春期に発症します。また、ミオクロニー発作は通常、覚醒後に発生し、睡眠不足や疲労によって引き起こされます。、疾患: GABRA1 遺伝子の欠陥は、小児欠神てんかん 4 型 (ECA4) [MIM:611136]の原因です。ECA4 は特発性全般てんかん (IGE) のサブタイプであり、6~7 歳での発症、頻繁な欠神発作 (1 日に数回)、および脳波上で両側性、同期性、対称性の 3Hz 棘波を特徴とします。思春期には、強直間代発作とミオクロニー発作が発現します。欠神発作は、成人期まで寛解する場合もあれば、持続する場合もある。、機能: 脊椎動物の脳における主要な抑制性神経伝達物質である GABA は、GABA/ベンゾジアゼピン受容体に結合し、必須の塩素イオンチャネルを開くことで神経抑制を媒介する。、オンライン情報: 『禁断の果実』 - 2005 年 3 月号 第 56 号、類似性: リガンド依存性イオンチャネル (TC 1.A.9) ファミリーに属する。、サブユニット: UBQLN1 に結合する (類似性による)。通常は 5 量体である。GABA(A)受容体鎖には、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 、 $\delta$ 、 $\rho$  の 5 種類がある。、

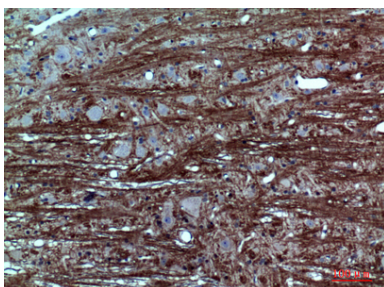
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

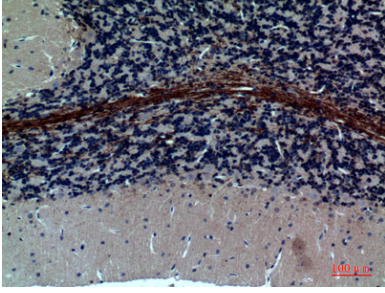
## 画像データ



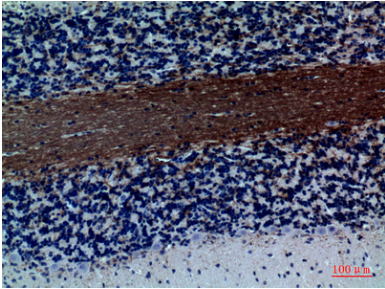
GABAA R $\alpha$ 1 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3、KB 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された